

平成 29 年 7 月 13 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 愛知県立刈谷高等学校 教諭 奥村 祐月
2. 講師氏名: SELVAM, Kaliyamoorthy (Mr.)
3. 同行者氏名: 同研究室の男性の大学院生
4. 実施日時: 平成 29 年 7 月 12 日 (水) 15 : 30 ~ 17 : 40
5. 参加生徒: 1 年生 15 人、 2 年生 3 人、 ___ 年生 ___ 人 (合計 18 人)
備考: 希望者
6. 講演題目: (英文)
(和文) 半導体光触媒を用いるCO2と有機化合物との炭素—炭素結合形成反応
7. 講演概要
「半導体光触媒を用いるCO2と有機化合物との炭素—炭素結合形成反応」について、専門的な内容を、丁寧に説明していただいた。半導体の電子と陽子の分離は電池の発電方法と似ているということを図や式を用いて説明していただいた。質疑応答では、インドの文化についてや研究で用いる実験装置の仕組みに関する事など、多様な質問がたくさんあり、活発な様子が見られた。
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 80 分 質疑応答時間 20 分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講演
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
専門的な部分について、少々の日本語説明をしていただいた
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
講師から概要を聞いていたので、それをまとめたプリント、およびスライドのプリントを配布した。
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
なし
11. その他特筆すべき事項:
なし